

「そろそろ、ですよ！」

季節を安心して楽しむメンテナンス情報を
マリモコミュニティからお届けします。



乾燥しがちな季節は しっかりお手入れした**加湿器**で 室内を快適に

空気が乾燥する季節に活躍するのが、加湿器です。風邪や乾燥肌の予防に役立ちますが、きちんと手入れをしないとカビやいやなお臭の原因になることも！

タンクの水は毎日交換

加湿器のタンクの水は、毎日清潔な水にとり替えるのが基本。まず、内部の水はいつたん捨てます。それから少量の水を入れてふたをし、内部をふり洗ってから新しい水を入れるようにしましょう。タンクに何日も水を入れたままにしておく、カビや雑菌の繁殖につながる可能性があります。

フィルターはクエン酸で

加湿器にフィルターがある場合は、最低でも1カ月に1回程度、フィルターのお手入れも必要です。フィル

ターにこびりつく白いかたまりの正体は、水道水に含まれるミネラル分。そのままにしておくと加湿器の性能が下がってしまいます。

フィルターのお手入れとして一般的なのが、クエン酸を使う方法。ぬるま湯バケツ1杯に対して大さじ1程度のクエン酸を溶かし、フィルターを1〜2時間つけおきます。その後、すすいでから本体にセットしましょう。

吸気口のホコリは 掃除機などできれいに

吸気口のまわりにたまる汚れは、おもにホコリ。週に1回程度を目安に、掃除機で吸い取る、から拭きまたは水拭きをするなどのお手入れをするとよいでしょう。

※お手入れ法は機種によって異なるので、取扱説明書を確認してから行ってください。

キレイをキープ＆ 気になるにおいを防ぐための **トイレ掃除の基本**

「きれいなトイレ」をつくるためには、見た目のピカピカ感に加え、適切なにおい対策も重要です。

便器とタンクは 拭く&こする

便器とタンクは、トイレ掃除用のシートなどでていねいに拭くのが基本です。便座の裏側や縁、シャワーノズルなど、細かい部分も忘れずに。さらに、便器の内側は、トイレ用洗剤をつけたブラシでこすり洗いをしておきます。汚れがたまりやすい縁の裏側などもていねいに洗うようにしましょう。

床と壁も忘れずに

床や壁も、掃除のたびに拭き掃除するのが基本です。トイレ掃除用のシート

で壁やドアを上から下へ拭き、その後、床もすみずみまで拭いておきましょう。

トイレ小物は こまめに洗濯

布製のアイテムは、トイレのにおいの原因になりやすいもの。便座カバーやトイレマット、ペーパーホルダーカバーなどは、替えのものを用意しておき、こまめに洗いましょう。スリッパは、洗えるものは丸洗いし、洗えない場合は底をこまめに拭き、短時間でとり替えるようにしましょう。手拭き用のタオルは、毎日交換を。湿ったタオルを放置しておく雑菌が増えるため、不衛生なのはもちろん、「生乾き」のようないやなお臭の発生源にもなってしまいます。



汚れた**照明器具**を きれいに 明るい部屋に！

照明器具には、意外にホコリなどの汚れがたまっているもの。ちよつとひと手間かけて掃除をすれば、部屋全体が明るくなります。

シェードのホコリをとる

電源を切り、照明器具の熱を冷ましてから、はたきでホコリを払います。プラスチックや金属製のシェードは、とり外して水拭きを。べたついたホコリの汚れが落ちにくい場合は、住居用洗剤を使うとよいでしょう。

スイッチも拭き掃除

壁のスイッチやリモコンは、手あかがつきやすいもの。住居用洗剤をつけた布で汚れを落としましょう。その後、水拭きで洗剤の成分をしっかりと拭きとり、さらさら拭きしておきます。